

としまボランティアセンターだより

2024 年 12 月号

毎月 1 日発行

Vol. 339

発行：社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会

豊島ボランティアセンター

〒170-0013 豊島区東池袋 1-39-2 区役所東池袋分庁舎 4 階

TEL 03-3984-9375 FAX 03-3981-2946

E メール tomonii@t.toshima.ne.jp

URL <http://toshima-shakyo.or.jp>

月～金曜日 8:30～17:15 (土日・祝日・年末年始は休み)

音声版は当協議会の閲覧コーナーにあります。

歳末たすけあい募金 にご協力をお願いします

東京都共同募金会豊島地区協力会では、毎年 12 月 1 日～12 月 31 日の期間に「歳末たすけあい・地域福祉活動募金」を実施しています。

この活動は、困窮・孤立状態にある人々が「安心してお正月を迎えることができるように」という思いから始まりました。

現在、豊島地区協力会では、寄せられた募金の全額が、豊島区で活動するボランティア団体の活動やボランティアセンターの運営事業など地域福祉のために活用されています。

【募金受付期間】

12 月 1 日～12 月 31 日

【募金方法】

●町会・自治会による戸別募金

●区内の募金箱

設置場所：東部・西部区民事務所、各区民ひろば、としま区民センター、各地域文化創造館、豊島区民社協事務局など

●郵便振替

口座番号：00190-0-421741

加入者名：社会福祉法人東京都共同募金会
豊島地区協力会

※ゆうちょ銀行窓口での受付分は、取扱い手数料が免除になりますので、ゆうちょ銀行窓口職員へお申し出ください。ご不明な点は、下記までお問い合わせください。



【問合せ】豊島区民社会福祉協議会総務課 03-3981-2930

【こんなことに役立てられています】 豊島地区の募金は、豊島区に 100%還元されています！

●助成事業のために



区民や地域活動団体が実施するサロン活動等の安定した運営のために

●福祉教育のために



区内の学校や企業・団体での、車いす体験やボランティア講座などの実施に

●災害ボランティアセンター運営体制構築のために



災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練や災害ボランティア養成講座などの実施に

豊島ボランティアセンター出張講座の報告

～「地域」「学校」「社協」がつながる福祉教育を～

豊島ボランティアセンターは、地域活動への参加促進を図ることを目的として福祉教育・ボランティア講座などを行っています。

区立富士見台小学校における総合的な学習の時間「車いすの体験学習」では、車いすの種類や各部位の名称、操作方法の説明後、児童2人一組になって車いすで学校内の廊下や水飲み場、靴箱、校庭など普段使っている場所を散歩しました。

また、地域の車いすユーザーの方をゲストティーチャーとしてお迎えして、普段の暮らしの様子や児童の皆さんに直接伝えたいことなどをお話していただき、有意義な時間を過ごすことができました。

当センターでは、10年後、20年後の地域福祉の担い手を育むために、これからも学校、個人・ボランティア団体などさまざまな方とつながりを持ち、それぞれの立場や強みを生かした、地域福祉を推進する福祉教育の取り組みを続けて参ります。

講座の実施については、お気軽にご相談ください。



一番大切なことは、車いすユーザーの人とかかわりを持つこと



ゲスト
ティーチャー
対
担任の先生
腕相撲で勝つ
のはどっち？

能登半島地震被災地視察のご報告

9月18日～20日、城西ブロック社会福祉協議会（豊島区、板橋区、杉並区、中野区、練馬区）で能登半島地震被災地視察に行ってきました。

豊島区民社協からは職員2名が参加し、氷見市社協・輪島市社協の災害ボランティアセンターの取組、能登半島地震被災者支援ボランティアプログラムの取組、輪島市地域住民による生活支援の取組、金沢市社協の避難者支援の取組を見てきました。

能登半島地震被災者支援ボランティアプログラムサロンの様子
豊島区からは6人がボランティアに参加しました。



▼氷見市社協の職員よりセンターの説明



今回の視察では、災害ボランティアセンターの運営に加えて、被災者の生活支援の取組について学ばせていただくことが多くありました。発災直後の大変な期間と復興の期間を分けて考えるのではなく、一緒に考えていくことが大切なことであると感じました。

【住民の声】



東京からこんな遠くに来てくれて、きのどくなー（方言：ありがとう）。

今はこんな風に笑っていられるけど、考えてみてください。正月に自分の家が壊れて、住む場所がなくなることがイメージできますか？

その時は、立ち直れないくらいショックだったけども、落ち込んでも失ったものが戻ってくるわけではないからね。同じ気持ちのみんなに「一緒に前を向こうよ」と声をかけていった。

地域福祉を考えているみなさんへ、災害時の大変な期間と復興の期間を分けて考えるのではなく、災害の支援と日常生活の支援を一緒に考えていってほしい。みんなが同じ方向を向いていけば、元のように、まちは盛り上がっていくから。

ボランティア募集！

活動までの流れ

施設・団体での活動の場合

- ①活動を希望する「連絡先（担当者）」へ直接連絡を入れる。
- ②質問事項等があれば事前に伝え、面接日等の確認をする。

<施設・団体>

おもちゃの図書館「あいじえん」

大塚にあるおもちゃの図書館「あいじえん」でボランティアをしてみませんか？障がいのあるお子さん、ないお子さんと一緒におもちゃで遊びながら楽しい時間を過ごします。開館日にお手伝い下さる方、おもちゃの修理等をして下さる方、手作りのおもちゃを作って下さる方、大歓迎です！お気軽にご連絡ください。

- ▼内容：障がいのあるお子さん、ないお子さんとの遊び相手等
- ▼日時：原則毎月第1第3月曜日 12:40～15:30(祝日は休み)
- ▼条件：子どもと遊ぶことが好きな方
- ▼活動場所：福祉財団ビル3F中央愛児園内 おもちゃの図書館「あいじえん」(大塚駅)
- ▼対象：高校生以上(男女不問)
- ▼その他：活動しやすい服装(ボランティアの方専用のエプロンを着用して活動)、ボランティア保険加入必須。
- ▼問合せ先：全国心身障害児福祉財団事務局 担当：原
TEL 03-5927-1284 FAX 03-5927-1281
Eメール gyomubu@shougaiji-zaidan.or.jp
URL <http://www.shougaiji-zaidan.or.jp/>

学校開放協力員(有償ボランティア)

子どもたちが安全・安心に活動できるよう見守り、開放施設及び遊具などの管理補助をします。

- ▼内容：学校開放管理員と協力して、次の活動を行います。
 - (1) 放課後の校庭等で活動する児童の見守り
 - (2) 開放施設及び遊具等の管理
- ▼日時：10:00～18:00(主に土日)
学校開放運営委員会で指定した時間。最大5時間。※各学校で異なるため、まずは放課後対策課までお電話ください。
- ▼対象：(1)年齢満18歳以上 (2)心身ともに健康な方
- ▼活動場所：豊島区内の小学校
- ▼募集人数：各学校で異なるため、まずは放課後対策課までお電話ください。
- ▼謝礼：1時間1,020円(所得税込)
- ▼問合せ先：豊島区放課後対策課 担当：鎌田・菅家^{かんげ}
TEL 03-4566-2786 FAX 03-3980-5163
Eメール A0029610@city.toshima.lg.jp

エル・システマジャパン (東京子どもアンサンブル)

「東京子どもアンサンブル」は、障害の有無にかかわらず歌の好きな子どもたちが無料で参加できる子どものコーラスです。2017年に東京芸術劇場の共催事業として開始し、現在、視覚に障害のある子どもたちや、そうした子どもたちと接点がなかった子どもたちが支え合い、切磋琢磨しながら高みを目指す活動しています。参加する子どもも募集中です。

- ▼内容：歌う子どものサポートをしてくださる方によってこの活動が支えられており、子どものかたわらで一緒に音程を取ったり、見えない子どもの手引きをすることを必要としています。
- ▼日時：日曜日午後
- ▼条件：楽譜が読めて、歌える方。特に、視覚障害者のサポート経験のある方、または音楽活動をする子どものケアができる方、歓迎しています。
- ▼活動場所：東京芸術劇場リハーサル室(池袋駅) ※現在は改装中のため、近隣の公的施設等で活動中)
- ▼対象：小学生から高校生までの、視覚障害児を中心とした障害のある子どもを包摂した、子どもコーラス
- ▼募集人数：数名
- ▼締切：ふさわしい方々が応募してくださった時点で締め切らせていただきたいと思います
- ▼その他：毎回の参加ではなく、交代でシフトを組めるようにしています。交通費支給。Eメールでお申し込みの際は、件名に「ボランティア希望」とお書きください。
- ▼問合せ先：エル・システマジャパン
担当：菊川、砂川
TEL 090-6479-2444
Eメール whc@elsistemajapan.org
URL www.elsistemajapan.org



クリスマスコンサート
のご案内

<芸能ボランティア紹介>

- 豊島ボランティアセンターでは、趣味や特技を活かしたボランティアをしてみたい方や団体を募集しています。
- すでに活動経験がある方でなく、これから活動を始めてみたいという方も大歓迎です。登録をご希望の方は豊島ボランティアセンターまでお問合せください。

東京アマチュアマジシャンズクラブ

- ▼内容：マジックで明るい社会、楽しい生活をお手伝い。
- ▼日時：希望される日時
- ▼活動地域：区内および近隣地区
- ▼対象：社会福祉施設、小中学校、幼稚園、子ども会、区民ひろばなど
- ▼問合せ：TAMC(東京アマチュアマジシャンズクラブ)
担当：池内
TEL 090-1541-1573 FAX 3983-3447
Eメール ikeuchi@cap.ocn.ne.jp

いんぷおめ〜しょん

~information~

<講座>

くまの子「絵本読み聞かせ講座」

絵本には、赤ちゃんからシニア世代まで、あらゆる人々が楽しめる魅力が詰まっています。絵本を通して地域で触れ合い、自身の健康増進、認知症予防を目指し、元気に過ごしたい方、一緒に読み聞かせをしませんか。現在豊島区内の区民ひろば、保育園、高齢者施設、公園、イベント、サロンなどで、絵本の読み聞かせを行っています。

▼内容：絵本の読み聞かせ技術の習得・ボランティアの心得など

▼日時：1/9～3/27の毎週木曜日（3/20祝日は休み）

10：00～12：00

▼持ち物：筆記用具

▼活動場所：ほほえみクラブ室（池袋本町）

▼参加費：教材費 3,000円

▼対象：豊島区在住60歳以上の方

ボランティア活動に参加できる方歓迎

▼募集人数：16名

▼締切：12月24日 15：00 先着順

▼その他：Eメールでお申し込みください。件名を「読み聞かせ講座」として、〔住所、氏名（フリガナ）、電話番号、Eメールアドレス〕を記入

▼問合せ先：くまの子 担当：大江

Eメール kumanokor5@gmail.com

福祉用具再活用事業のご案内

福祉用具再活用事業とは、「購入したけれど使わなかった」「車いすがあるといいけれど…」など、福祉用具を必要としている人へつなぐ、たすけあい＆エコな事業です。

提供したい方がいます



① ポータブルトイレ



② ポータブルトイレ（木製）

※どちらもほとんど使っていない物です。

「譲ってほしい」という方は、豊島ボランティアセンターまでご連絡ください。

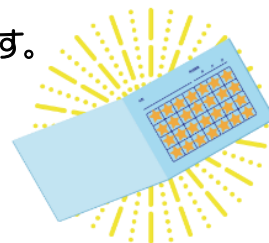
TEL 03-3984-9375

豊島区高齢者元気あとおし会員のみなさまへ

元気あとおしポイントの還元会を豊島ボランティアセンターで毎月実施しています。下記日程にて受け付けていますので、ご予約の上交換にいらしてください。

12月の日程 17日(火)、18日(水)、19日(木)

予約ができる時間は、10:30～16:00の間です。



使用済み切手・書き損じハガキのご寄付ありがとうございました！！

<11月受付：10/11～11/10 受付分> 29件 3,271g ハガキ 283枚

神谷教美、羽根一樹、柿迫夏希、金田一剛志、佐藤千史、福西易子、八下田友子、伊藤智子、坂本好子、リマナチュラル(株)、文化シャッター(株)、豊島区学童保育連絡協議会、Café里葉、一財)東京広域勤労者サービスセンター、東京医療秘書福祉&IT専門学校、(株)光通信、Two Fingers Craft Beer、区役所（高齢者医療年金課、学習・スポーツ課、環境保全課）匿名8名

※敬称略・順不同

ボラセン閲覧コーナー 今月のイチオシ！！

「12月3日～9日は

障害者週間」

